

トランプ大統領の米国第一の優先事項

米国を再び安全に

国境を安全にし、米国のコミュニティを守るために大胆な行動を取る。

バイデン政権のキャッチ・アンド・リリース政策の廃止、メキシコ待機政策の復活、壁の建設、不法入国者に対する亡命の廃止、犯罪者の聖域に対する取り締まり、外国人の審査強化が含まれる。

国外追放作戦は、前政権下での記録的な数の外国人の犯罪者の越境に対処するもの。

地域社会が大規模な数の移民の収容を余儀なくされ、安全と資金に負担がかかっていることを受け、難民の再定住を停止する。州兵を含む軍は、国境警備に従事し、法執行機関を支援する。

トレン・デ・アラグアを含むカルテルを外国テロ組織に指定し、外国人敵対者法を用いて排除する手続きを開始する。

司法省は、米国人を殺害した不法移民など、人道に対する凶悪犯罪に対しては、適切な刑罰として死刑を追求する。

米国を再び手頃な価格でエネルギー大国に

気候変動に関するバイデン政権の政策を廃止し、許認可手続きを合理化し、規制を見直すことで、米国のエネルギーを解き放つ。

自動車、シャワーヘッド、トイレ、洗濯機、電球、食器洗浄機などにおける消費者の選択肢を拡大する。

エネルギー緊急事態を宣言し、あらゆるリソースを活用して重要なインフラを構築する。

自然景観を損ね、エネルギー消費者へのサービス提供を怠る大規模な風力発電所への（公有地の）リースは終了する。

パリ協定から離脱する。

全ての政府機関は生活費削減のための緊急対策を講じる。

「米国第一の通商政策」を発表する。

米国企業を罰するような国内税制について外国組織の言いなりになることはない。

既得権益の一掃

政府官僚機構を改革し、米国に黄金時代をもたらす。必要不可欠な分野を除いて官僚の採用を凍結する。バイデン前大統領が発表した、まだ発効していない負担の大きい急進的な規制を一時停止する。

前例のない数の大統領令による（規則の）廃止を発表する。

官僚の説明責任を改善する。連邦職員を職場に戻す。

政府による武器化を終わらせるため、法律で定められたすべての文書の保存を命じる。連邦政府による違憲な検閲も廃止する。

大統領の指示により、国務省は米国第一主義の外交政策を取る。

米国の価値の復活

男性と女性を生物学的な現実として確立し、急進的なジェンダーイデオロギーから女性を守る。

米国のランドマークには、歴史を適切に称える名称が付けられる。